

分析機器部門講習会シリーズ

バイオイメーjingテクニカルセミナー 多重染色試薬・画像解析ソフトの紹介 ～免疫組織化学の新アプローチ～

本セミナーではパーキンエルマー社より、Opal 染色についてご紹介いただきます。Opal 染色は組織切片において複数のタンパク質分子を抗体染色する手法で、同一動物由来の一次抗体を複数使用して多重染色を行うことができます。また、組織切片の定量的な画像解析を行うためのソフトウェアについてもあわせてご紹介いただきます。

日 時 : 平成27年9月4日(金) 午前の部 11:00 – 12:00
午後の部 13:15 – 14:15
(午前・午後は同内容)

場 所 : 医系研究棟3号館4階 実習室

定 員 : 各回15名

申込期間 : 9月1日(火) 17時まで

申込方法 : 電子メールで件名を「OPAL」とし、「所属講座」「氏名」「内線番号」「電子メールアドレス」「参加希望の回(午前/午後)」を明記の上、e.yorifuji@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当: 依藤 絵里 (内線: 5792、E-mail: e.yorifuji@med.nagoya-u.ac.jp)

※Webでも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)

バイオイメージングテクニカルセミナー

多重染色試薬・画像解析ソフトの紹介 ～免疫組織化学の新アプローチ～

日程 平成27年9月4日(金)

時間 午前の部 11:00～12:00
午後の部 13:15～14:15 (質疑応答含む 午前・午後は同内容)

場所 医系研究棟3号館4階 実習室

演者 株式会社パーキンエルマージャパン アプリケーションスペシャリスト **野村 守 氏**

内容

OPALは、複数のマウスモノクロー抗体で組織切片の同時多重染色が可能な免疫組織化学の新アプローチです。使用する抗体の選択肢を広げ、正確な細胞フェノタイピングが可能で、微弱シグナルの検出も可能となります。

また、組織切片の定量的な画像解析を実現した組織イメージ解析ソフトウェアのご紹介もさせていただきます。組織マイクロアレイや染色組織切片・蛍光免疫染色組織切片の定量解析に対応します。客観的な解析により、高い再現性を実現します。

抗体の組み合わせに自由を Single Specie Multiplexing

OPAL

{ お問い合わせ }

株式会社パーキンエルマージャパン 担当: 松井 (090-1992-1373)

❖ お申し込みは分析機器部門 依藤まで ❖

E-mail: e.yorifuji@med.nagoya-u.ac.jp 内線: (81)5792

分析機器部門 講習会案内もご覧ください

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>

単一動物由来抗体を複数使用可

独自の抗体除去技術により、これまで困難だったマウスモノクローナル抗体を複数使った多重染色が可能

使用する抗体の選択肢を広げ、正確な細胞フェノタイピングが可能

TSA Plusによるシグナル増幅

微弱シグナルの検出が可能

VectraあるいはNuanceとinFormを組み合わせたシステムでは、最大8種類のバイオマーカーの検出が可能となります。

上図の染色に用いた一次抗体
顕微鏡像はNuanceスベクトルカメラにて撮影

色	抗原 (標的)	由来動物
赤	CD8	マウス
緑	CD4	マウス
橙	CD20	マウス
紺	サイトケラチン AE1/AE3	マウス
黄	PD-L1	ウサギ
青	核 (DAPI)	